tive processes in meteorology and climatology, Elsevier, Amsterdam, 134-136.

Paszyński, J., 1964: Topoclimatological investigations on heat balance, Polonica, 2, 70-77.

Price, J.C., 1980: The potential of remotely sensed thermal infrared data to infer surface soil moisture and evaporation, Water Resour. Res., 16, 787-795.

Rosenberg, N.J., B.L. Blad and S.B. Verma, 1983: Microclimate, John Wiley & Sons, 134-139. Simiu ,E. and R.H. Scanlan, 1978: Wind effects on structures, John Wiley & Sons, 45-47.

Sutton, O.G., 1953: Micrometeorology, McGraw -Hill. 232-233.

Swinbank, W.C., 1963: Long-wave radiation from clear skies, O. J. Roy. Met. Soc., 89, 339-348.

竹内清秀・近藤純正,1981: 大気科学講座1 地表 に近い大気、東大出版、4章。

坪井八十二編, 1977: 新編農業気象ハンドブック, 養賢堂, 東京, 81-87.

-NEWS---

世界の異常天候とその影響評価 (27)

(Climate Impact Assessment, May, 1986, NOAA/NESDIS)

1. 合衆国一干ばつ

5月後半の大雨は、ミシシッピー、アラバマ、テネシー、ジョージア等合衆国南東部の厳しい干ばつ 状態を緩和した。これにより、穀物は救われ、火災 の可能性が減じた。しかしながら、いくつかの地域 では多くの雨がもっと必要である;ヴァージニア北 部は今世紀最も乾燥した春であった。

2. イラン一大雨

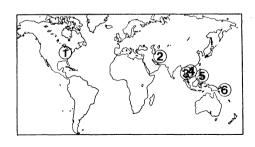
5月3日から6日にかけての大雨はイラン中央部に洪水をもたらし、これによる死者は26名、損害は3,000万ドルと報じられている。

3. タイ - 大雨

2日間で400 mm という豪雨は,バンコクの都心部に大洪水をひきおこした。しかしながら,被害は都市域に限られ,主要穀物の被害は無かったものと思われる。

4. ヴェトナム一大雨

北部では雨の多い天候が続き、穀物に被害があった。丘陵地域の大雨は局地的な洪水をひきおこし、より広範囲な5月末頃の大雨は北部デルタ地域に被害をもたらした。



5. フィリピン一干ばつ

主要穀物であるトウモロコシに好ましくない乾燥した天候が続き、南部で植え付けを遅らせ、植え付けの終わった畑に影響を与えた模様である。トウモロコシの植え付け時期は月末には半ばが過ぎており、今のところ救い難い。

6. ソロモン諸島一台風

台風 Namu が 5月19日襲来し, 死者71名, 91,000名が家屋を失ったと報告されている. 総降水 量は350 mm (14インチ) に達した.

注:上記各項目の番号は図中の番号に対応している。 (気候変動対策室 田宮兵衛)